

女性活躍推進啓発事業【高知県】

総事業費	5,577千円
交付金額	2,570千円

地域の実情と課題

管理職に占める女性の割合は27.0%であるが、医療・福祉62.7%に対して、建設業9.3%と業種による差が大きい。【R3高知県労働環境等実態調査より】

- ・医療・福祉以外の業種では、女性の管理職割合が半数を大きく下回り、男性が主に意思決定を行っていると言える
- ・多様性のある組織であることが、人材の流出防止やイノベーションの創出につながるというデータもあり、県内企業の経営発展のためにも、女性管理職の割合を高める必要がある

事業の特徴

シンポジウムを開催するだけでなく、各社の制度改革等につなげることができた

- アンケートで「今後、女性活躍推進に取り組んでいきたいと思う」と回答した人は98%
- 会社の役員会でシンポジウムの内容が議題等にあがったり、後日実施したオンデマンド配信を役員全員で視聴する動きもみられた

事業の効果

- ・女性活躍推進シンポジウム当日来場者数 248名
- ・オンデマンド配信視聴数 492(ユニーク視聴者数:261)
- 高知県経営者協会女性委員会とタイアップしてシンポジウムの内容を企画したことで、より訴求力の高いシンポジウムの内容となり、来場者の満足度が高かった(96%)。
- 口コミ等での紹介によりオンデマンド配信視聴数も伸びた。
- ※当初見込み100

目的・目標

【目的】

- ・女性活躍推進に向けた社会機運の醸成
- ・県内で活躍している女性を紹介することで、それまで女性の少なかった業種への参入やキャリアプランの設計等、女性の勇気づけ(エンカレッジ)につなげる

【目標】

女性活躍推進シンポジウムの参加者数:200名

連携団体

- ・高知県経営者協会(女性委員会)
 - シンポジウムの内容に関して企画協力。集客協力。
- ・高知県経営者協会、高知商工会議所、高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央会、高知県法人会連合会、土佐経済同友会
 - シンポジウム後援及び会員企業の参加促進
- ・産業振興センター、ワークライフバランス推進認証企業、出会い・結婚・子育て応援団
 - 会員企業、団体への当該シンポジウムの周知、参加依頼

今後の課題

- ・経営層等の女性活躍や働き方改革への関心を高められたため、今後は、具体的な制度改革や取組開始に向けた伴走支援へつなげていく必要がある(別途実施しているワークライフバランス推進事業等へつなげた)。
- ・地域の意識啓発を実施した次期施策として、実際に女性管理職を育成する取組を強化することが必要。

